

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 県立学校インターネット接続事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育財務課 情報基盤係 電話番号：058-272-1111 (内8566)

E-mail：c17773@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 21,572 千円 (前年度予算額：16,025 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	16,025	0	0	0	0	0	0	0	16,025
要求額	21,572	0	0	0	0	0	0	0	21,572
決定額	21,572	0	0	0	0	0	0	0	21,572

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナでの臨時休業期間中に、学校間総合ネットとWeb会議室を用いたオンライン授業を展開したが、インターネット接続の回線容量が不足したため、令和2年5月に通信回線の工事及びプロバイダー契約の容量拡張を行い対応した。自然災害等で臨時休業した際、オンライン授業配信環境の維持が必須である。

通信量増大により、令和3年度に大規模25校についてはインターネットブレイクアウト(IBO)回線工事を実施したが、それでも通信増に耐えられないためIBO機器の入れ替え及び新規中規模20校についてIBOを実施する。

(2) 事業内容

学校間総合ネットデータセンターとインターネットを接続する事業。県立学校に整備されているパソコンやタブレットをインターネット接続し、ICTを活用した授業支援に利用する。休校時や登校できない生徒のためにオンライン授業用の配信用として活用する。

(3) 県負担・補助率の考え方
県10/10

(4) 類似事業の有無
無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
役務費	20,087	光回線使用料 (DC集約) 12,540 光回線使用料 (IB025校、R8.4~R8.9) 1,403 光回線使用料 (IB045校) 6,144
委託料	1,485	光回線回線管理費 (IB045校) 1,485
合計	21,572	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4次岐阜県教育振興基本計画

施策Ⅱ 「未来を創る確かな学力と実践力」の育成

9 ICTを利活用できる力の育成

(2) 後年度の財政負担

使用料については同額程度の財政負担が生じる。(長期継続R7~R9)

(3) 事業主体及びその妥当性

県立学校に整備したパソコン等がインターネットに接続する費用であり、授業において有効に活用されているため、本事業は県負担が妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
安心安全に活用できる岐阜県の教育用ネットワークとして安定した管理運用を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R6年度 実績	R7年度 実績	R8年度 目標	終期目標 (R9)	
					達成率	
①開庁日における稼働日の割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	県立学校に向けたインターネット接続 すべての県立学校にある教育用情報機器をインターネットに接続した。
	指標① 目標：100% 実績：100% 達成率：100%
令和5年度	県立学校に向けたインターネット接続 すべての県立学校にある教育用情報機器をインターネットに接続した。
	指標① 目標：100% 実績：100% 達成率：100%
令和6年度	県立学校に向けたインターネット接続 すべての県立学校にある教育用情報機器をインターネットに接続した。
	指標① 目標：100% 実績：100% 達成率：100%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	全ての県立高等学校および県立特別支援学校の児童生徒と教職員約5万人が、安心して利用できるインターネット接続であり、今後もオンライン需要の増加が見込まれるため必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	近年インターネットを介したクラウドサービスが増加しており、教育の情報化に寄与している
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	重要な情報を集約して集中管理することで、費用を抑えながら情報セキュリティの確保を行い、費用の効率化に寄与している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ネットワーク利用率が年々増加しており、県立学校において有効に活用されているため、通信データ量を注視しながら対応策を検討する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか インターネットブレイクアウト回線の見直しを行う。 国立情報学研究所が運営するSINETが初等中等学校への接続解放を予定しており、安心安全で安定した超高速インターネット回線との接続を検討する必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	